

会派 黎明 吉岡 鳴人 議員

1 人口減少対策ビジョンについて

- (1) 本市は人口減少の抑制と地域の生活機能維持として、人口減少対策ビジョンを策定し、2060年に9万人程度の人口維持を目指している。新規事業の予算規模と持続可能な財源確保について示されたい。
- (2) 4つの重点プロジェクトの施策展開は、誰もが未来に夢や希望を描けるよう情報発信をすることは重要と考える。市民一人ひとりが身近に感じてもらうため、どのような方策によって理解浸透を図り、制度を利用促進するのか本市の考えを示されたい。
- (3) 本市の環境を生かした「ならでは」を創出し、魅力を感じる機会と捉える。そこで、多様化・複雑化した社会において、より豊かで充実した環境を整備するため、既存事業の見直しや施策の磨き上げについて示されたい。
- (4) 本ビジョンにおいて、少子化対策は喫緊の課題と捉える。そこで少子化に対する基本的な考え方と少子化に関する施策について示されたい。

2 原油価格・物価高騰対策について

- (1) コロナ禍からの地域経済回復を見据える中、原油価格・物価高騰等により、实体经济への影響が顕在化している。この現状をどのように分析、認識しているか。また、コロナ禍における原油価格・物価高騰対策の取組と今後の方向性について示されたい。

会派 黎明 吉岡 鳴人 議員

3 新たな工業団地整備と企業誘致について

- (1) 新たな工業団地として、鹿児島県農業開発総合センター大隅支場が予定され、基本計画を作成中であるが、できるだけ多くの若者の雇用を図るために、どのような企業の誘致を考えているか。
- (2) 鹿屋市企業誘致サポーターの役割は大切であるが、各ふるさと会での情報交換や、現在、鹿屋市内で操業されている誘致企業への会社訪問等も積極的に行なっていくべきではないか。
また、早めに企業誘致活動を進めるべきではないか。
- (3) 鹿屋市工場等立地促進補助金制度があるが、他に企業誘致に向けて、どのように鹿屋市をアピールしていくか。
また、高校との連携が大切であると思うが、どのように取り組んでいくか。

4 デジタル環境整備事業について

- (1) 鹿屋市スマート化計画のスマートな市民サービス「行かない市役所」「書かない市役所」の利用状況、利用者の評価、また、スマートな職場・職員の取組への成果を示されたい。
- (2) 本市は令和5年度から、自治体クラウドシステムの運用開始とのことである。現在の進捗状況と運用上の利点や課題を示されたい。
また、今後の環境整備の見通しについて示されたい。
- (3) 国は、「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」の実現を目指すとしている。デジタルを活用した町内会活動への支援策は考えられないか。

会派 黎明 吉岡 鳴人 議員

5 かがしま国体・かがしま大会について

- (1) 国体開催延期により市民の関心希薄が懸念される。市民の開催機運醸成を図るための新たな取組を示されたい。

6 部活動地域移行について

- (1) スポーツ庁・文化庁は 2023 年度から 3 年間で「改革推進期間」と位置付けを改め、「地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す」としている。本市の地域移行の在り方について、考えを示されたい。
- (2) 地域移行により、更なる部活動の充実を図るべく、地域連携、指導者確保、指導力向上、練習場所の確保は必至である。地域格差を生まず豊かな部活動生活を送るために、どのような制度設計の構築を行うのか。
また、取組の課題と計画についても示されたい。